



第 1 回 学校運営協議会 記録

1 日 時 令和 7 年 7 月 3 日 (木) 午前 10 時から 11 時 30 分まで

2 会 場 静岡県立池新田高等学校 小会議室

3 参加者

【委員】

木下 裕義 様

水野 浩三 様

漢人 隆弥 様

谷 麻衣子 様

【学校職員】

校 長 副校長 高等部主事 教務課長

4 内 容

※任命状を校長より各委員へお渡ししました。

(1)開会

(2)校長挨拶

おはようございます。今年度より赴任した山崎でございます。本日はお忙しい中、ありがとうございます。分校は、特別支援学校の本校とはまた違った取り組みをしている、分校ならではの活動があります。取組の内容を見て、忌憚のない御意見をいただきたいと思います。

文科省からコミュニティスクールについて資料が出ていますが、学校及び地域との連携、そして地域と共に行う学校づくりのねらいがあります。地域に根ざした学校づくりにおいて、大事にされているところとして、多くの方と課題解決のための対話があげられています。本日も分校が抱えている課題が話題に出てくるので、課題解決を目指して、分校の取組が良い方向に向かいますよう、委員の皆様から御意見をいただきますことをお願いします。

(3)自己紹介

木下委員 今年度 2 年目。昨年度、生徒の頑張りが見えた。そして、今後、社会に出たときに必要な協調性が育まれていることが分かった。

水野委員 小笠地区の 5 町を管轄としている。浜岡で生まれ、池新田高校の卒業生でもある。地元の住民として意見を伝えたい。

漢人委員 中学校の教員をやっていた。分校開校の年には御前崎中学校に勤務していた。生徒の進学をとおして、分校につながりを感じていた。

谷 委員 今年度から P T A 会長を務めている。娘が高 2 にいる。今日から実習に行っている。小学部、中学部を本校で過ごし、本校では一期生として小学部に入学した。できていなかったことも、できるようになり、地域の方々の協力によりたくさんの活動もできた。分校でも地域の方々に御協力いただき、

活動できるとよい。

校 長 本年度より赴任した。前任は浜松特支で、初めに教員になったときも浜松だった。そこで副校長とも一緒に勤務した。掛特にきて、本校も分校も子供たちが素直で学習にひたむきに取り組んでいる。挨拶も明るくて良い。雰囲気が良い。どちらの学校でも、このように感じている。子供たちの良さをいろいろな人に知ってもらいたい。それをアピールしていきたい。

副校長 赴任して2年目。特技は、赴任した学校を好きになること。反対に2年目は、2年目のジンクスに陥るときがあるので、気を引きしめて業務にあたりたい。

部主事 昨年度を振り返り、地域の方々の協力により学習活動に結びついている。分校のこと、生徒について、地域に理解啓発していきたいと考えている。この啓発活動について、御意見をいただきたい。

教 務 教育課程（学習内容）を校内で検討する際、地域に宝がたくさんあることを改めて知る機会となった。実際の場面で具体的に活動していくことで力を付けていく分校生にとっては、大事なことであり、それが実現でき、生徒も成長している自分の姿に喜びを感じている。御前崎市とのかかわりの中で温かさも感じている。

（4）協議

ア 令和7年度学校経営計画（校長） 学校経営書より

- ・校訓「元気、笑顔、夢の実現」は本校と同じく合言葉のように馴染んでいる。高等部なので、特に「夢の実現」を目指して、これを大事に教育活動に取り組んでいる。
- ・学校教育目標は、いきいき学ぶ、心身ともに健康で、主体的に学ぶこと。よりよく生きる人、日々の学びを積み重ね、卒業後に自立した豊かな生活を送ること。学校生活を送る上で心身の健康が大事、そして主体的に学ぶことも大事。地域と共に、ひと、もの、ことに主体的にかかわること。地域に出ていき主体的にかかわることも目指している。

・目標具現化の柱

専門性、安全安心、連携、チームは下に挙げているとおり

- ・「専門性」の（ア）主体的・対話的で深い学びは、学校教育全般をとおり、授業で大事にしている。今年度、学習の個性化、個別化に取り組み、個別最適の学びが実現できることを狙っている。
- ・「（イ）つながりのある支援の充実」は、系統性、教科横断的な視点を押さえた学びをとおり、生徒の身に付けた力を社会で生かすことを狙っている。
- ・ICTの障害による学習上又は、生活上の困難さを改善・克服する視点で生徒にとってICTは身近。今後は生活中的困難さに対応するための活用（自分自身の助け）になるようにしていく
- ・人権について、生徒の特性に応じて、状況の変化に応じた支援をすることをあげている。生徒の状況に応じた変化、臨機応変に対応できないことが多いので個別の支援をしていくことが大事。

- ・ いじめゼロ。子供たち同士で相手を尊重して、高校生活を送る思いやりを育成する。
- ・ 危機管理マニュアル
いろいろな災害、生活の中でも、様々な危機管理を求められる。
危機管理方法を更新しながら、実情に合うものを作っている。そして、危機感をもって対応できるよう、教員の危機管理意識の向上を目指していく。
また、子どもたち自身の安全教育として、自分の身を自分で守ることができるよう、家庭でも話をしていただけるよう、連携していく。
- ・ 関係機関との連携、協働強化について、個別の教育支援計画を活用し一人一人の進路先の生活につなげていくために、支援の継続やそれぞれの関係機関とつながりをもっておくことが大事だと考えている。
- ・ 地域資源、池新田高校とのつながり
分校は、販売会、地域作業を積極的に行っている。このような取組をとおして、地域に発信していく。
- ・ 働きがいについて。それぞれの教員にとっての働き甲斐があることは、支えあうことにつながる。このことが分校職員の主体性につながり、有用感につながり、そして、子供たちの指導につながるとよいと考えている。

イ 教育活動（部主事）

- ・ 学部目標「働く力」と「よりよく生活する力」を身に付ける
目指す姿 毎日元気に登校 基本的なマナー よりよいコミュニケーション
主体的に取り組む 自分の強みや課題が分かる
学区 スライドで示す 4市が学区
様々な地域から通う
地域の行政機関ともかかわり学習活動を展開している
- ・ 地域協働型学習及び共生・共育の推進
年間3回の作業製品販売会を軸に作業学習と2回の産現実習、共生・共育をとおした行事（体育大会、学校祭）が主な共育活動
- ・ HP 毎日更新している。
スライドで「授業の様子」「3年生の現場実習」提示
- ・ 大産業まつり
地域の啓発活動としても重要な機会としている。昨年度も、運営協議会委員の御尽力で、よい環境のもと行事が遂行できた。本年度もよろしくお願いします。
- ・ 地域への啓発、連携した学習活動
（家庭の学習として）やまもも保育園で幼児との交流を行った。
実際にふれあい、生の体験ができた。そこから、幼児について、よい気づきができた。
- ・ 御前崎分校の学びの場
くしぶき祭>

- ・店づくりでは、どのようにしたら売れるのか、お客様が来てくれるのかを考え、しぶき祭を迎えることができた。

【写真提示】

販売前、生徒が自然に気合を入れる場面

池高生も事前に大勢並び、駆けつけてくれた場面

地域の方々も大勢駆けつけてくださった場面

<11 月体育大会>

- ・浜岡総合グラウンドで行う。体育の学習の成果を発揮する。長縄、徒競走

<授業交流>

- ・池高 1 年生対象
- ・分校の生徒が自信をもって取り組める活動をとおして自然な交流ができていた。年間 2 回実施。
- ・他、パンジーの苗植え、スクラムグッドマナーも行っている。

<地域作業>

- ・金曜日様々な事業所で行っている
- ・しずてつジャストライン、風のマルシェ（清掃活動、レジ補助）
御前崎市役所（軽作業、事務作業）東海清風園（窓清掃）

<産現実習>

- ・夢の実現につながる活動 【写真提示】

<外部講師>

- ・清掃業者から、清掃を学ぶ
- ・JAからも外部講師に来ていただき、地域の情報も教えていただいている

<卒業後の動向>

- ・スライド提示

ウ 意見交換

木下委員：池高運営協議会に出席した。共生共育を掲げている以上は、分校と共生していきたいとのことだった。（池高の）意識は高まっている。池高の先生に分校副校長は、前向きだと伝えた。ウィンウィンでやれることを話し合いしながら進めていけるとよいと思う。
学習の個別化について、苦労されるだろうなと思うが、今年度どのように進めていくのか。

学 校：子供たちの学習の狙いに応じてグルーピングしたり、縦割りの中でねらいを達成させるための手立てを考えたりしている。目標の達成に向けて、職員同士で話し合っている。ねらいは同じだが、達成させるためのグルーピングや活動を工夫している。
特支は、チームティーチングで指導をしているので、全体指導の中で個への配慮を行っている。小学校で、支援員がサポートに入るイメージ

を持っていたければわかりやすい。

水野委員：学校の存在を知らなかったが、運営委員になり、また、産業祭でも（分校のことを）知った。

地域の方々に、さらに存在を示すものがあるとよい。

ICTの活用について、今現在、どんな困難があったら、どのように使用すればよいと考えているのか伺いたい。

学 校：クロームブックを使用している。文字を書くことに時間を必要とする生徒にとっては、入力することにより書字に表しやすくなる。意見交換の際も、伝えることに困難のある生徒も打って書字で共有できる。

作業学習でも、（生産の）進捗がわかるアプリを使用している。活用が進んでいるので、個々に応じて「わかる（＝生活しやすい）」ように、使用していきたいと考えている。

漢人委員：実習、職場実習を進めていることについて、将来像を築くために、企業を開拓しているイメージがある。実習をすることにより、企業を選ぶことが多いのか、また、違う方を選ぶのか。

分校の生徒は、どこへ行きたいか等、夢を持ちながら生活していると感じている。

学 校：1年生の目的は自己理解、この中で評価をもらい、自分の強み、課題を知り自己理解をしていく。

2年生の目的は自己選択、どのような事業所でやりたいか、自分にあっているか。

3年生は、ここに行きたいという考えのもと実習を行っている。

（特支学校は）高等部で進路を決めるということ、進路選択に当たり、高等部で決めることの大変さも感じた。高等部卒業までに、将来はどのようなのかと投げかけていくことについて、中学校との違いを感じた。

谷 委員：娘が1年生のとき、しぶき祭等を通じて親も池高の保護者との関わりが必要だと思った。親同士で盛り上がることができるし、子供も支えることができると感じた。2年になり、今回も、たくさんのお客様が来て、たくさん池高生も来ていた。親もお客さんと関われるブースを作っていけるとよいと感じた。

就職について、将来、何になりたいかの発信が、自分からは薄いところがある。学童、学校、本人からの情報を聞き、親なきあとの就労を考えている。独りになったとき、しっかり生きていけるよう、将来への土台を作っている。そのためにも親同士のつながりを築き、子供たちの将来のことを一緒に話して、互いに学んでいければ、子供が行きたいところに行けるのではないかなと思うところが、正直な気持ち。ところが現実にはなかなか厳しいこともあり、福祉事業所も定員があり、厳しい。そういうとき、学校からの情報が大事であり、例えば「彼女はこういうところが得意だよ。」という情報が必要だと考えている。今日から草笛共同作業所で実習をしている。そこでミシンをやらせてもらっている。親として

は心配もあるが、送り出した以上は、任せて待っている。今日は、みなさんの話を聞いて勉強になった。

学 校：今年度は、会長がPTAでつながりをもてるよう、学習会を計画してくれている。親と親をつなげていきたい。

(5) 学校参観

- ・校内実習 1年校内実習 2、3年校内実習 を参観

(6) 校内コンプライアンス委員会

ア 令和7年度不祥事根絶取組計画

- ・学校経営書P27
- ・分校は教職員20人。不祥事、交通加害、人身事故は起こさないように呼び掛けている。
- ・5月はグループワークを計画していたが、県からの飲酒運転のことに関するコンプライアンス通信の事例をもって研修と替えた。(業務の見直し)
- ・わいせつ、セクシャルハラスメントについても同様に、県のコンプライアンス通信を教材とし、各自の研修にあてた。
- ・体罰については、学年会において多様な価値観の共有を図っていく。
- ・1年間を通じて、ハラスメントが起きないようにしている。
- ・企業努力について委員の方からよい例があったら教えていただきたい。

木下委員：人ごとにしやすく、自分は違うという目で見ることがあるので、短い時間でも、自分事として取り組んでいこうと思っている。身近な実例があるとわかりやすい。

水野委員：コンプラ研修は、「全体研修⇒管理職、中間層」の研修がある。
飲酒運転でいうと、歓送迎会の時期、タクシーで帰っているが、場所的に車でないと帰れない場所なので心配がある。

谷 委員：静岡県は不祥事が多いと思っている。今回の件(小学校の盗撮事件)は、静岡県でなくてよかった。親の立場から言うと、障害のある子供は自分から言えないことがある。自分の身体は大事と言っているが、知的障害もあり、教えるのが難しい。親として、どのように言ったらよいか、自分が、そのような状況になったら助けを求められるのか、親として対処方法を学んでおかないといけないと思う。

学校の同性介助はありがたい。親としてみると、体の仕組みが成長と共に言えないところもあるし、調べると、いろいろなことが出てきてしまうので、変に理解してしまい、それが良い場合だけではない。どこからどこまで、教育していったらよいか、学校と、そのような行事ができるとよい。対処の方法、子供への声かけの方法を学んでいけるとよいと思う。

学 校：性教育は、価値観の問題などもあり、専門家を招聘していくことが良いと思っている。

イ 令和7年度人権教育全体計画

- ・(分校では) 授業で取り残されないのも人権ということを押さえている。
『授業がつまらない=学校がつまらない』となることを防ぐためにも、分かる授業を行うことを全教員と共有している。

(7)連絡事項

- ・次回開催日及び学校行事の案内 令和8年2月4日(水)
池新田高校との合同体育大会 11月
御前崎市大産業まつり 11月
御前崎市役販売会 2月
お時間がありましたら、活動の様子を御覧ください。

(8)閉会